| 授業科目 | 保育実習指導Ⅱ | | | | | 実務家教員担当科目 | - |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 単位 | 1 | 履修 | 選択 | 開講年次 | 2 | 開講時期 | 通年 |
| 担当教員 | 篠木　賢一、笠　修彰、池田　佐輪子 | | | | | | |
| 授業概要 | 保育所実習Ⅱに臨むための必要な知識・技術を習得することを目的とする。事前指導としては、学内での講義や実務家教員によるグループワークなどを用いた演習などを通して、保育所実習Ⅱの意義・目的・内容・方法について理解し、実習課題を明確化する。また、実習記録の書き方、実習に関する事務手続きの方法についても説明する。事後指導としては、実習のふりかえりを通して、自己評価を行い、実習での体験を深める。<br>なお、保育所実習Ⅱを実施するためには、保育実習指導Ⅱへの出席を必須条件とする。 | | | | | | |
| 授業形態 | 講義<br>必要に応じて保育実習指導Ⅲと合同で実施 | | | 授業方法 | 適宜グループワークやディスカッションを取り入れる。 | | |

| 学生が達成すべき行動目標 | |
|---|---|
| 標準的レベル | 1. 保育所実習Ⅱの意義・目的・内容について説明できる。<br>2. 保育所実習Ⅱに対する心構えを持ち、実習課題を明確にできる。<br>3. 保育所における保育士の役割について説明できる。<br>4. 保育所実習Ⅱにおいて求められる基本的な保育技術を実践することができる。<br>5. 実習後のふりかえりでは、保育士の役割の観点から自己課題を明確にできる。 |
| 理想的レベル | 標準的なレベルに加え、以下の点に到達できる。<br>1. 保育所実習Ⅱの意義・目的・内容について自分の言葉で説明できる。<br>2. 保育所実習Ⅱにおいて求められる基本的な保育技術を実習場面で場に適した態度で実践することができる。<br>3. 実習後のふりかえりでは、保育士の役割の観点から自己課題を明確にし、自分の言葉で説明できる。 |

| 評価方法・評価割合 | | |
|---|---|---|
| 評価方法 | 評価割合（数値） | 備考 |
| 試験 | | |
| 小テスト | | |
| レポート | | |
| 発表（口頭、プレゼンテーション） | | |
| レポート外の提出物 | 70% | 各種提出物の提出状況を評価対象とする。提出の遅延は大きく減点し、未提出は実習不可とする。 |
| その他 | 30% | 受講態度や授業中のマナーを実習に参加するために必要な準備ととらえ評価対象とする。 |

| カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| DP1 | ○ | DP2 | ○ | DP3 | ○ | DP4 | ○ | DP5 | ○ | ナンバリング | CH31602J |

| 学習課題（予習・復習） | 1 回の学習目安（時間） |
|---|---|
| 講義内容で不明な点は教科書などを用いて確認する。 | 1 |

| 授業計画 | |
|---|---|
| 第 1 回 | オリエンテーション・保育所実習Ⅰの振り返り<br>授業の進め方について<br>保育所実習Ⅰの振り返り<br>教材作成についての説明 |
| 第 2 回 | 日誌の振り返り／実習の振り返りと布おもちゃの作成<br>保育所実習Ⅰについて個別のふりかえりを深めることと並行して、保育所実習Ⅱに向けた教材作りを行う。 |
| 第 3 回 | 保育所実習の記録の書き方<br>保育所実習の記録について、観察とそれについての考察の書き方を中心に解説する。 |
| 第 4 回 | それぞれの実習施設について<br>各自の実習施設について調べて、オリエンテーションに向けての準備を行う。 |
| 第 5 回 | 児童福祉施設の現場から 1：外部講師<br>児童養護施設の職員から現場での保育士の職務と実習生としての心構えを講義してもらう。 |
| 第 6 回 | 児童福祉施設の現場から 2：外部講師<br>児童養護施設の職員から現場での保育士の職務と実習生としての心構えを講義してもらう。 |
| 第 7 回 | 保育所実習Ⅱの自己課題<br>自己課題の重要性を解説し、演習を用いて自己課題を設定する。 |
| 第 8 回 | 教材発表<br>保育所実習で使用できる手作り教材を用いた模擬保育を行う。 |
| 第 9 回 | 実習の直前指導<br>施設実習Ⅰ・Ⅱおよび保育所実習Ⅱの直前指導を行う。 |
| 第 10 回 | 実習後のふりかえり<br>実習を振り返る内容の講義と演習を行う。 |
| 第 11 回 | 保育士証の登録について<br>保育士証の登録手続きについて解説を行う。 |
| 第 12 回 | 個別の振り返りと実習報告会準備<br>保育所実習Ⅱについて個別の振り返り。<br>実習報告会に向けてグループごとに準備を進める。 |
| 第 13 回 | 実習報告会のリハーサル<br>実習報告会のリハーサルを行う。 |
| 第 14 回 | 実習報告会<br>実習での学びについて、1 年生からの質疑を受けながら理解を深める。 |
| 第 15 回 | まとめ<br>これまでの保育実習指導および保育実習での学びについてまとめる。 |
| テキスト | 保育実習指導Ⅰと同じ |
| 参考図書・教材／データベース・ | 長島和代　2014　保育のマナーと言葉　わかば社 |

| | |
|---|---|
| 雑誌等の紹介 | |
| 課題に対するフィードバックの方法 | 実習日誌や実習施設からの評価表等を用いて、実習事後面談を行います。 |
| 学生へのメッセージ・コメント | 保育実習指導１において実習に臨むための以下のような基本的な姿勢、必要な知識を学んでおくことが望ましい。<br>基本的なマナーとコミュニケーションスキルを身につけること。保育所での協働について理解を深め、実習生としての役割を理解していること。<br><br>保育者としての自分の姿は子どもたちの健やかな発達にいい影響を与えることができるかどうか振り返ってみてください。 |